

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月12日

上場会社名	株式会社日本創発グループ	上場取引所	東
コード番号	7814	URL	https://www.jcpg.co.jp/
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	藤田 一郎
問合せ先責任者	(役職名) 取締役管理本部長	(氏名)	菊地 克二
四半期報告書提出予定日	2021年8月13日	配当支払開始予定日	2021年8月30日
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 有		
四半期決算説明会開催の有無	: 有 アナリスト向け		

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績 (2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		EBITDA※		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	26,617	8.3	794	—	1,363	—	2,292	130.5	625	—
2020年12月期第2四半期	24,579	△8.2	△197	—	16	△98.8	994	△57.4	△159	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 707百万円 (—%) 2020年12月期第2四半期 △43百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	12.38	—
2020年12月期第2四半期	△3.44	—

(2) 連結財務状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第2四半期	62,708	12,982	18.5	229.25
2020年12月期	61,966	12,544	18.1	222.40

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 11,595 百万円 2020年12月期 11,225 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	2.50	2.50	2.50	2.50	10.00
2021年12月期	2.50	2.50	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	—	2.50	2.50	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		EBITDA※		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	3.4	1,300	—	2,100	197.0	4,100	42.5	900	—	17.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日 (2021年8月12日) 公表いたしました「2021年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※EBITDA=経常利益+減価償却費+のれんの償却額+金融費用

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 - 社 (社名) 除外 2 社 (社名) ダンサイエンス株式会社
株式会社エグゼクション

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	55,271,736株	2020年12月期	55,271,736株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	4,692,355株	2020年12月期	4,796,075株
③ 期中平均株式数	2021年12月期2Q	50,503,651株	2020年12月期2Q	46,330,369株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2021年1月1日～2021年6月30日）における当社企業グループの事業の概況につきましては、定期出版物など継続的な受注は比較的安定しておりましたが、緊急事態宣言の再発令などにより、サービス消費が減退し、各種イベント等の再先送りや中止、商業施設、娯楽施設等の一部制限や休業など、サイン・ディスプレイ等の販促ツール制作の受注が減少いたしました。一方で、感染拡大防止を目的としたアクリル板やフェイスガード、ソーシャルディスタンスを守るための床面シールなど備品類の需要増加に対応して参りました。また、東京オリンピック・パラリンピックが開催されることとなり、関連施設での掲示物等の需要に対応するとともに、コロナ禍での社会生活に即したサービス消費への対応を目的とした、リアル及びデジタル販促ツールの需要拡大、その作成に向けた企画提案などに積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は266億17百万円（前年同期比8.3%増）となりました。また、営業利益は7億94百万円（前年同期は営業損失1億97百万円）、経常利益は、新たに持分法適用関連会社となった株式会社小西印刷所および株式会社リングストーンを含めた投資利益、助成金収入等を加え13億63百万円（前年同期は経常利益16百万円）となりました。経常利益に減価償却費、のれんの償却額および金融費用を加えたEBITDAは22億92百万円（前年同期比130.5%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は6億25百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億59百万円）となりました。

なお、当社企業グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、主に、短期借入金の返済による現金及び預金、受取手形及び売掛金並びに法人税等の還付による未収入金の減少がありましたが、土地、建設仮勘定、投資有価証券及び長期貸付金の増加により、前連結会計年度末に比べて7億42百万円増加し、627億8百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、主に、買掛金、未払金及び短期借入金の減少がありましたが、未払法人税等、未払消費税及び長期借入金の増加により、前連結会計年度末に比べて3億4百万円増加し、497億26百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、主に、支払配当金による減少がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べて4億37百万円増加し、129億82百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期通期連結業績予想につきましては、2021年8月12日付で公表いたしました「2021年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,482	12,214
受取手形及び売掛金	10,308	8,408
電子記録債権	1,682	1,643
商品及び製品	707	695
仕掛品	943	912
原材料及び貯蔵品	516	527
短期貸付金	1,994	1,990
その他	1,098	649
貸倒引当金	△256	△284
流動資産合計	31,477	26,759
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,439	6,431
機械装置及び運搬具(純額)	2,856	2,626
土地	13,165	13,587
建設仮勘定	129	595
その他(純額)	295	271
有形固定資産合計	22,887	23,512
無形固定資産		
のれん	257	192
その他	832	806
無形固定資産合計	1,089	998
投資その他の資産		
投資有価証券	3,899	4,505
繰延税金資産	441	481
その他	2,200	6,479
貸倒引当金	△29	△27
投資その他の資産合計	6,511	11,438
固定資産合計	30,489	35,949
資産合計	61,966	62,708

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,619	2,969
短期借入金	31,000	27,000
1年内返済予定の長期借入金	1,400	2,400
未払法人税等	318	537
その他	3,940	3,467
流動負債合計	40,278	36,375
固定負債		
長期借入金	5,900	10,150
退職給付に係る負債	1,108	1,158
資産除去債務	122	124
繰延税金負債	312	313
その他	1,700	1,605
固定負債合計	9,144	13,351
負債合計	49,422	49,726
純資産の部		
株主資本		
資本金	400	400
資本剰余金	5,518	5,530
利益剰余金	6,345	6,664
自己株式	△1,120	△1,096
株主資本合計	11,143	11,498
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69	94
繰延ヘッジ損益	△3	△2
退職給付に係る調整累計額	16	5
その他の包括利益累計額合計	82	96
非支配株主持分	1,318	1,386
純資産合計	12,544	12,982
負債純資産合計	61,966	62,708

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	24,579	26,617
売上原価	18,244	19,208
売上総利益	6,335	7,409
販売費及び一般管理費	6,532	6,614
営業利益又は営業損失(△)	△197	794
営業外収益		
受取利息	2	16
受取配当金	13	5
受取地代家賃	101	141
助成金収入	27	324
持分法による投資利益	—	99
その他	170	232
営業外収益合計	315	820
営業外費用		
支払利息	59	74
支払手数料	—	124
持分法による投資損失	15	—
その他	27	52
営業外費用合計	102	251
経常利益	16	1,363
特別利益		
固定資産売却益	1	5
投資有価証券売却益	28	168
その他	5	4
特別利益合計	35	179
特別損失		
固定資産売却損	—	19
固定資産除却損	13	7
投資有価証券評価損	68	290
その他	1	75
特別損失合計	82	393
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△30	1,149
法人税、住民税及び事業税	228	536
法人税等調整額	△129	△66
法人税等合計	98	470
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△129	679
非支配株主に帰属する四半期純利益	29	54
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△159	625

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△129	679
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	80	104
繰延ヘッジ損益	0	0
退職給付に係る調整額	5	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△64
その他の包括利益合計	85	28
四半期包括利益	△43	707
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△90	661
非支配株主に係る四半期包括利益	46	46

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、連結子会社であったダンサイエンス株式会社は、株式を譲渡したことにより、連結の範囲から除外しております。また、株式会社リングストーンを、第三者割当増資の引受けにより関連会社とし、持分法適用の範囲に含め、持分法適用非連結子会社であった明和物産株式会社は、株式を譲渡したことにより、持分法適用の範囲から除外しております。当第2四半期連結会計期間において、連結子会社であった株式会社エグゼクションは、株式を譲渡したことにより、連結の範囲から除外しております。また、飯島製本株式会社を、第三者割当増資の引受けにより関連会社とし、持分法適用の範囲に含めております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書関係)

当第2四半期連結累計期間より、前第2四半期連結累計期間において「営業外収益」の「その他」に含めて表示しておりました「助成金収入」は、金額の重要性が増したため、独立掲記しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連携累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に含めて表示しておりました27百万円は、「営業外収益」の「助成金収入」として表示しております。

(新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）（新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積りについて）に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関して行った会計上の見積り及び判断について、重要な変更はありません。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は、不確定要素が多く、第3四半期連結会計期間以降の当社企業グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。